

遠隔操作による通行止め措置が可能に

遠隔操作によりエア遮断機を稼働させることにより、速やかな通行止め措置を実現します。安全面を考慮し、CCTVカメラによる車両の有無の確認に加え、赤色灯の点灯で通行者へ周知を行うことにより、安全かつ円滑な通行止め措置が可能となります。また、遮断後においても、内蔵LEDの点灯により通行者の視認性を確保するとともに、万が一接触した場合においても柔らかな材質のため車両を傷つけることはありません。

遠隔操作のエア遮断機

効果と特徴

遠隔操作による通行止め

○地震や事故の際に、現地派遣が不要で、遠隔操作による速やかな通行規制が可能。本線内の車両滞留抑制が可能となり、通行規制時における迅速性、省人化に寄与。

※従来では、事象発生時において、出張所から現地までの移動に最大約40分要していたところ、導入により操作ボタンで瞬時の対応が可能。

停電も使用可能

○平時は交流100Vにて稼働。
停電時は、自動でバッテリー給電に切替。



京奈和自動車道 紀の川 I C での訓練状況

設置計画



稼働状況



内蔵のコンプレッサにより、バルーン内に空気を注入。



本体に内蔵のLEDフラッシュで夜間の視認性が高く、暴風雨でも目視が可能。